

# モバイルオフィス構築技術

渡辺 透\*  
守川修平\*

Mobile Office Solutions

Tohoru Watanabe, Syuuhei Morikawa

## 要 旨

三菱電機インフォメーションテクノロジー(株)(MDIT)では、上質でセキュリティのしっかりしたワークプレイスを創造することが、モバイルオフィスの基本コンセプトと考えている。それは、オフィスの内外、オンタイムやオフタイムなど、時間や場所といった既存の制約に縛られずに創造的かつ効率的なビジネスを実現できるオフィスである。

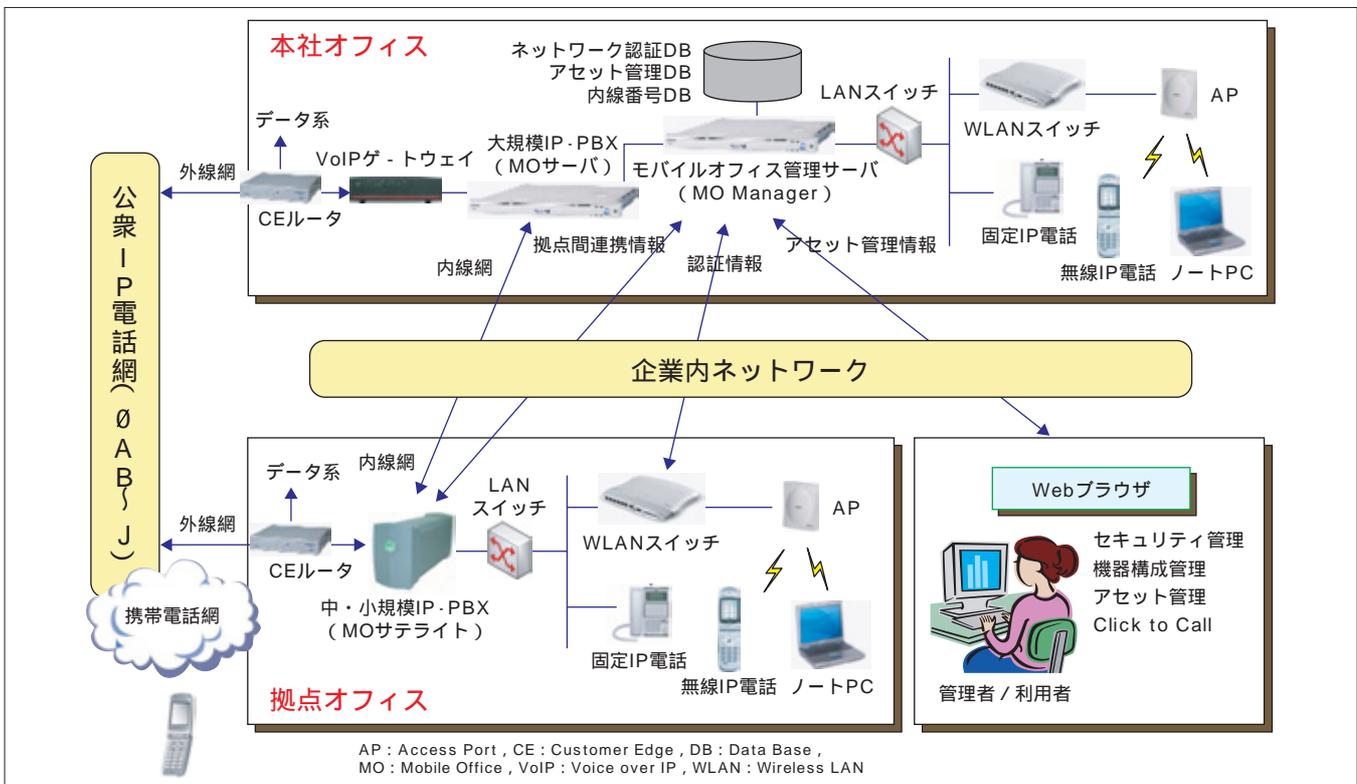
モバイルオフィスを導入すると、オフィスのどこにいても、いつでも、ノートPC(Personal Computer)を使って世界の情報(データ)にアクセスし、IP(Internet Protocol)電話を使って相手と直接コミュニケーションできる。その結果として、“フリーアドレス”や“ペーパーレス”のような便利で快適なオフィス形態を生み出すことができ、オフィスの生産性も向上させることができる。

このようなモバイルオフィスでは、ユーザーが自由に移

動できるように無線LAN(Local Area Network)を導入する。無線LAN環境上では、データ通信だけでなく、電話も無線IP電話を使用して、データと音声を統合する。また、セキュリティ管理も本社(センター)で一元管理することでユーザーの移動に対処する。

MDITは、モバイルオフィスの実現のために無線LAN環境とIPベースのPBX(Private Branch eXchange)であるIP-PBXを導入することで、データ+音声+セキュリティの統合を実現する“モバイルオフィス・セントレックス”の技術を確立し、自社オフィスに導入してその成果を検証した。

本稿では、このようなモバイルオフィスを実現するモバイルオフィス・セントレックス技術とその導入効果について述べる。



## モバイルオフィス・セントレックスの実現

本社と各拠点のオフィスには無線LAN環境とIP-PBXが導入され、社員はノートPCと無線IP電話で、どの場所においても仕事ができる。そのために、本社オフィス(センター)に“モバイルオフィス管理サーバ(MO Manager)”が、ネットワーク認証DB、アセット管理DB、内線番号DBを保持し、ネットワーク認証“アセット管理”“内線番号管理”などを一元的に行う。その結果、組織変更や異動に伴う費用は激減し、とかく紛失したりしやすいノートPCや無線IP電話の管理がしっかり行われる。さらに、ペーパーレスも自然に実現し、整理整頓の行き届いた便利で快適なオフィス環境が実現でき、オフィスの生産性も向上させることができる。